

航空自衛隊仕様書				
仕様書の種類	内容による分類	装備品等仕様書		
	性質による分類	個別仕様書		
物品番号	8465-424-7344-5		仕様書番号	
品名 又は 件名	封筒型スリーピングバッグ		C&LPS-D84411-5	
			大臣承認	平成 年 月 日
			作成	平成 7 年 9 月 28 日
			改正	平成 20 年 3 月 17 日
				平成 22 年 7 月 16 日
			作成部隊等名	補給本部

## 1 総則

### 1.1 適用範囲

この仕様書は、災害派遣時等に航空自衛官が仮眠等に使用する封筒型スリーピングバッグ（以下，“スリーピングバッグ”という。）について規定する。

### 1.2 用語及び定義

この仕様書で用いる主な用語及び定義は、C&LPS-Y00007による。

### 1.3 引用文書

この仕様書に引用する次の文書は、この仕様書に規定する範囲内において、この仕様書の一部をなすものであり、入札書又は見積書の提出時における最新版とする。

#### a) 規格

JIS L 0217	繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法
JIS L 0842	紫外線カーボンアーク灯光に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 0844	洗濯に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 0848	汗に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 0849	摩擦に対する染色堅ろう度試験方法
JIS L 1030-1	繊維製品の混用率試験方法-第1部：繊維識別
JIS L 1030-2	繊維製品の混用率試験方法-第2部：繊維混用率
JIS L 1092	繊維製品の防水性試験方法
JIS L 1094	織物及び編物の帯電性試験方法
JIS L 1096	織物及び編物の生地試験方法
JIS L 1902	繊維製品の抗菌性試験方法及び抗菌効果
JIS L 1903	羽毛試験方法
JIS L 2511	ポリエステル縫糸

品名	封筒型スリーピングバッグ
----	--------------

J I S S 3 0 1 5 スライドファスナ

N D S Z 0 0 0 1 包装の総則

N D S Z 8 0 1 1 角形銘板

b) 仕様書

C & L P S - Y 0 0 0 0 7 調達品等一般共通仕様書

2 製品に関する要求

2.1 構成

一組の構成及び構成の内訳は次のとおりとする。

- a) 本体 1個
- b) インナーシート 1個
- c) 枕 1個
- d) 枕カバー 1個
- e) 収納袋 1個

2.2 材料

材料は、付表1による。

2.3 加工

2.3.1 裁断

裁断は、次のとおりとする。

- a) 本体は、掛側（前身）、敷側（後身）、表裏とも1枚裁ちとする。
- b) インナーシートは、掛側（前身）、敷側（後身）とも1枚裁ちとする。
- c) 枕は、1枚（わな取り）裁ち又は2枚裁ち（上下面別裁ち）とする。
- d) 枕カバーは、1枚（わな取り）裁ち又は2枚裁ち（上下面別裁ち）とする。
- e) 収納袋は、周囲2枚、底部1枚裁ちとする。

2.3.2 縫製要領

2.3.2.1 一般要領

一般要領は次による。

- a) 針数は、2.5cm間の表面に現われた縫い目数とし、本縫い部10針を標準とし、ファスナ付けは8針以上とする。
- b) 縫い始め及び縫い終わりは、返し縫いを完全に行い、縫い代は1cm以上とする。
- c) 縫い飛び及び縫い外れがなく、糸調子が優良で、縫い目曲がりが目立たないものとする。

2.3.2.2 細部要領

細部要領は、付表5による。

品 名	封筒型スリーピングバッグ
-----	--------------

2.3.3 仕上げ

ミシン縫いの余分糸（表裏共），糸くず，保温材くず等を取り除き，丁寧に仕上げる。

2.4 形状・寸法

2.4.1 形状

形状は，付図1～4による。

2.4.2 寸法

寸法は，付図2～4による。

2.5 外観

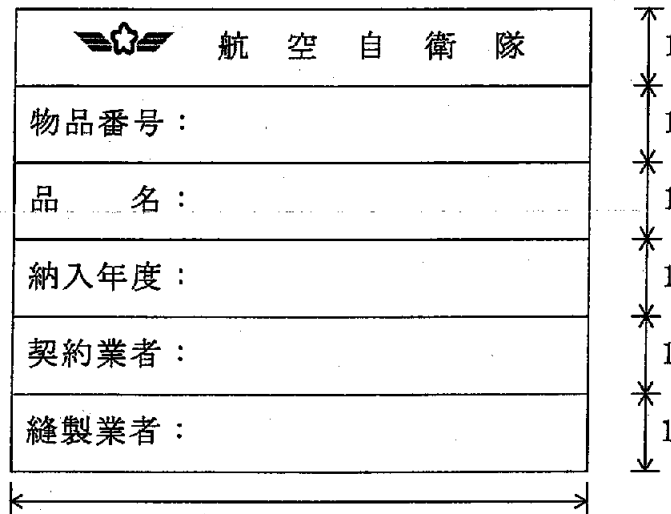
仕上がり優良で，傷，汚れなどの欠点が目立たないものとする。

2.6 製品の表示

2.6.1 銘板

銘板は，黒でにじみ及び退色しにくいものを用いて図1に示す様式のもの鮮明に押印又は印刷して，本体及び収納袋の所定位置に縫い付けるものとする。

単位 cm



注記1 銘板の用字及び書体はNDS Z 8011による。

注記2 寸法は，標準を示す。

図1－銘板

3 品質保証

検査項目，試験方法及び判定基準は，表1による。

表1－検査

検査項目	試験方法	判定基準
材 料	付表1～4による。	2.2の規定による。
加 工		2.3の規定による。
形状・寸法		2.4の規定による。
外 観		2.5の規定による。
製品の表示		2.6の規定による。

#### 4 出荷条件

##### 4.1 包装前の処理

- a) 本体には、インナーシートを所定位置に取り付ける。また、枕には、枕カバーを取り付ける。
- b) 防虫剤20gを入れ、脇部スライドファスナを上端まで閉じる。
- c) 本体を頭部から巻き込んで円筒状にし、本体の縛りひもで縛る。
- d) 本体を収納袋に入れ、収納袋のひもを締める。

##### 4.2 包装

包装は、特に調達要領指定書で指定する場合を除き、商慣習による。

##### 4.3 外装の表示等

外装の表示は、NDS Z 0001の表示・標識による。ただし、次の表示項目を見やすい箇所に表示する。

- a) 調達要求番号
- b) 物品番号
- c) 品名
- d) 数量
- e) 納入年度

例 2008年度

- f) 契約の相手方の名称又はその略号

#### 5 その他の指示

##### 5.1 承認用見本

契約の相手方は、C&LPS-Y00007に基づき、製作に先立ち承認用見本として、製品1組を契約担当官等に提出し、外観、風合い及び色について承認を得なければならない。

付表 1 - 材料

項 目	規 格		用 途
表 地	付表 2 による。		本体の表地 収納袋
裏 地	付表 3 による。		本体の裏地 枕表地 縁取りテープ用
保 温 材	付表 4 による。		掛側 保温材 (A) 0.85kg以上 敷側 保温材 (B) 1.2kg以上
綿 織 物	原糸番手	縦横共 20番	インナーシート地  枕カバー地
	組 織	平 織 り	
	密 度 /2.54cm間	縦横共60本標準	
	幅	91cm 以上	
	色	ク リ ー ム	
ナイロン テ ー プ	幅 70mm		マチ布
ナイロン 織 物	ナイロンタフタ 白		枕側 内布
枕 中 材	ラージフェザー		枕充填材 0.5kg以上
ファスナ	H級ポリアセタール樹脂 (J I S S 3 0 1 5) に よる。引手は上部両面引 手, 下部片面引手, 亜鉛合 金ダイカストオートマ チックスライダー 長さ 298cm		本体脇部, すそ部 開閉用 1本
	M級ポリアセタール樹脂 (J I S S 3 0 1 5) に よる。引手は片面引手, 亜 鉛合金ダイカストオートマ チックスライダー 長さ 45cm		本体頭部, 防風用 1本
綿テープ	厚さ 0.5~1mm	紺 色	本体縛り紐160cm切2本, 樹脂等による 先留インナーシート結着用12cm切11 本枕止め用40cm切1本, 樹脂等による 先留
	幅 16±1mm	クリーム色	

付表1-材料(続き)

項 目	規 格	用 途
綿丸打ひも	しん無し綿丸打ちひも 8×8 (径約4.6mm) 紺色	収納袋締めひも
縫 い 糸	J I S L 2 5 1 1 ポリエステル 5 0 番 紺色	本体収納袋, 枕, 本縫い用
	J I S L 2 5 1 1 ポリエステル 3 0 番 紺色	ファスナ付け
	J I S L 2 5 1 1 ポリエステル 紡績糸 5 0 番クリーム色	インナーシート, 枕カバー用

付表 2 - 表生地

区 分		規 定	試 験 方 法
繊維混用率 %		静電防止ナイロン100 <sup>*)</sup>	JIS L 1030-1及び JIS L 1030-1による。
織 度 dtex	たて	78	JIS L 1096による。
	よこ		
組 織		3/1 あや織	
幅 cm		117標準	
質 量 g/m <sup>2</sup>		110以上	
密 度 本/2.54cm間	たて	245以上 <sup>*)</sup>	
	よこ	115以上	
収 縮 率 %	たて	-2以内	JIS L 1096のD法による。
	よこ		
引 張 強 さ N	たて	1568以上	JIS L 1096のA法 (ラベルストリップ法)による。
	よこ	735以上	
防 水 度	耐水度 cm	50以上	JIS L 1092のA法による。
	はっ水度 点	4以上	JIS L 1092による。
色		紺	—————
染色堅ろう度 級	洗 濯	変退色	JIS L 0844のA-1号による。
		汚 染	
	摩 擦	4以上	JIS L 0849の乾燥試験の摩擦試験機Ⅱ形による。
耐 光		JIS L 0842による。	
摩擦帯電圧 V		洗濯20回後 2000以下	JIS L 1094による。
摩擦帯電電荷量 $\mu C/m^2$		5.0以下	
注 <sup>*)</sup> 生地 of 縦方向に導電性繊維糸を等間隔 (5 mm) に織り込むこと。			

付表3-裏生地

区 分		規 定	試 験 方 法	
繊維混用率 %	た て	静電防止ナイロン 100 <sup>a)</sup>	J I S L 1 0 3 0 - 1 及 び J I S L 1 0 3 0 - 1 に よ る。	
	よ こ	抗菌防臭ナイロン 100 <sup>b)</sup>		
織 度 dtex	た て	7 8	J I S L 1 0 9 6 に よ る。	
	よ こ			
組 織	平 織			
密 度 本/2.54cm間	た て	1 1 8 以 上 <sup>a)</sup>		
	よ こ	9 2 以 上 <sup>b)</sup>		
幅 cm		1 2 2 以 上		
質 量 g/m <sup>2</sup>		6 0 以 上		
引 張 強 さ N	た て	6 8 6 以 上		J I S L 1 0 9 6 の A 法 (ラ ベルストリップ法) に よ る。
	よ こ	5 3 9 以 上		
寸 法 変 化 率 %	た て	- 1 以 内		J I S L 1 0 9 6 の D 法 に よ る。
	よ こ			
色		紺	—————	
染 色 堅 ろ う 度 級	洗 濯	変退色	J I S L 0 8 4 4 の A - 1 号 に よ る。	
		汚 染		
	汗	酸 性	変退色	J I S L 0 8 4 8 の A 法 に よ る。
			汚 染	
		ア ル カ リ 性	変退色	
			汚 染	
摩 擦			J I S L 0 8 4 9 の 摩 擦 試 験 機 II 形 に よ る。	
摩 擦 帯 電 電 荷 量 $\mu C / m^2$		5 . 0 以 下	J I S L 1 0 9 4 に よ る。	
静 菌 活 性 値		洗 濯 1 0 回 後 2 . 2 以 上	J I S L 1 9 0 2 (定 量 試 験) に よ る。	
加 工		目 っ ぶ し 加 工	—————	
注 <sup>a)</sup> 生地 の 縦 方 向 に 導 電 性 繊 維 糸 を 等 間 隔 ( 5 m m ) に 織 り 込 む こと。 注 <sup>b)</sup> 抗 菌 効 果 を 有 す る 無 機 系 抗 菌 剤 を 原 糸 に 練 り 込 ん だ ナイロン糸				

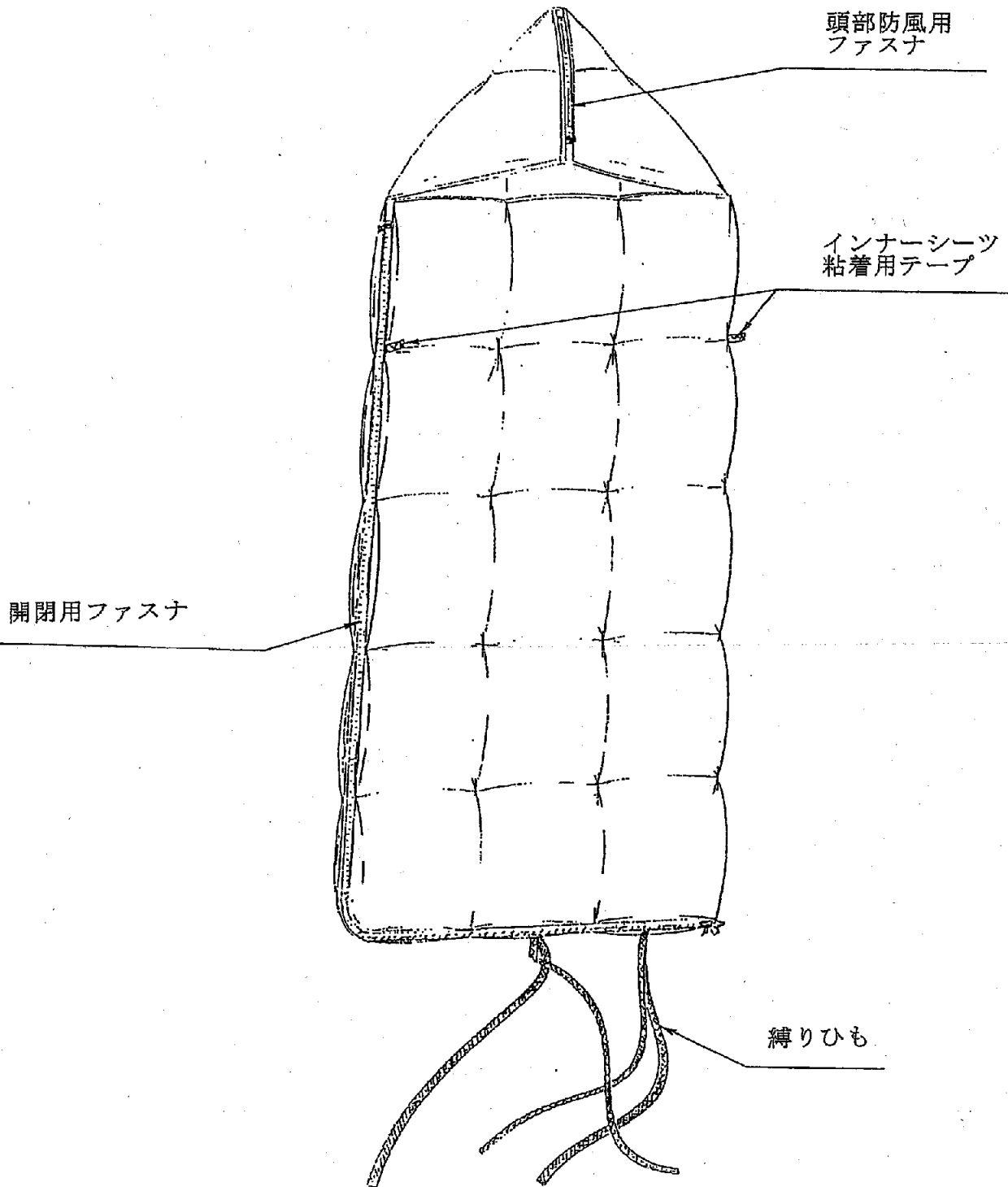


付表 4 - 保温材

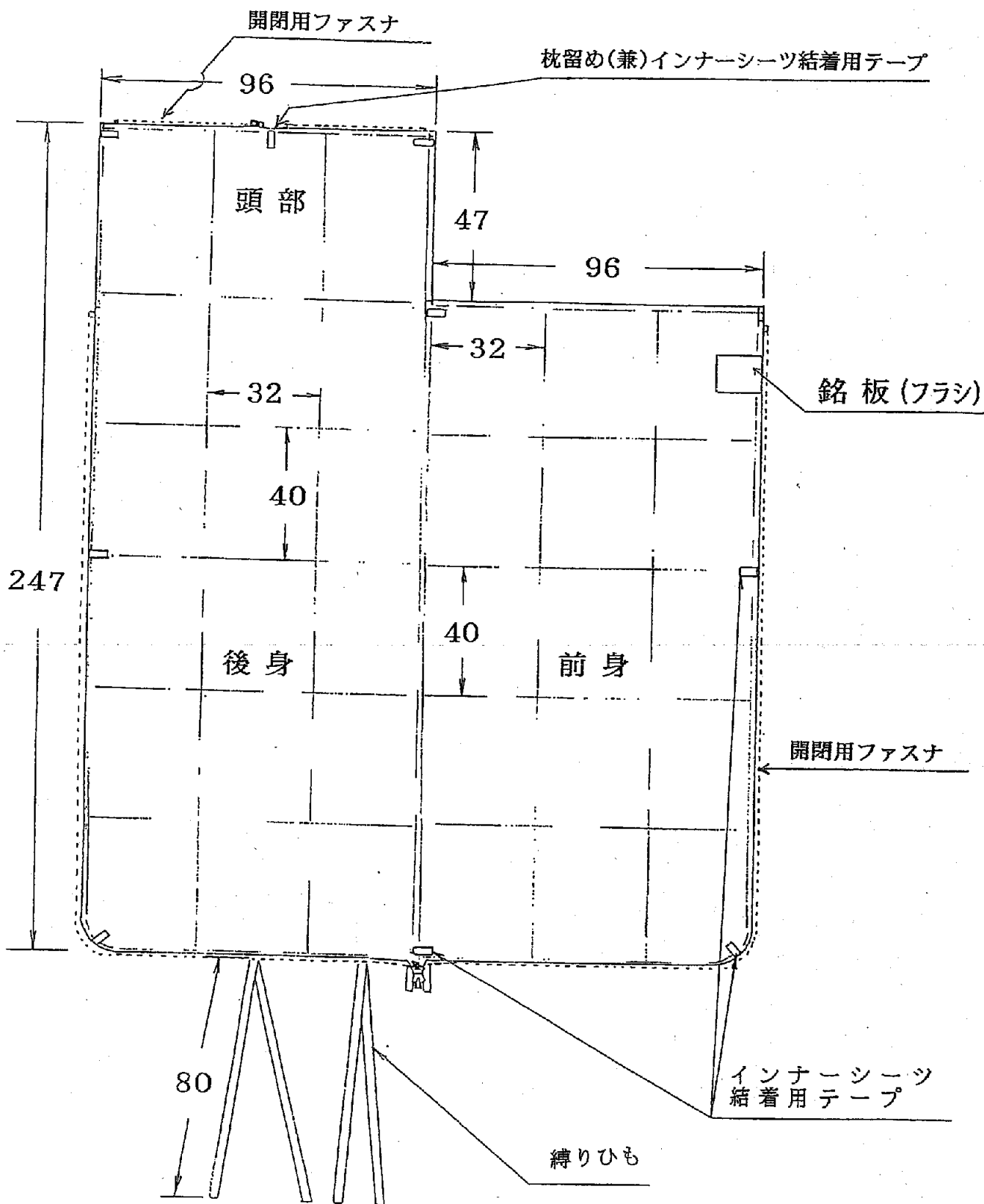
項 目		規 定 又 は 基 準	試 験 方 法
保 温 材  (A)	材 質	水鳥羽毛	_____
	羽毛混用率 %	ダウン50%, フェザー50%, ±5%	J I S L 1 9 0 3 による。
保 温 材  (B)	材 質	水鳥羽毛	_____
	羽毛混用率 %	フェザー100%	_____
共 通	品 質	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 翼及び尾の羽根毛, 骨尾, 長大な羽根毛並びに切羽根のないものとする。</li> <li>2 加工の都合上フェザーに多少の胸毛他が混入してもさしつかえない。</li> <li>3 生虫及び生虫卵がまったく付着していないものとする。</li> <li>4 ホルマリン等で消毒を行ったものとする。</li> </ol>	_____

付表5-細部要領

区 分	縫 製 要 領
本 体	<p>1 各身頃の縫製</p> <p>a) 表地及び裏地を厚さ5cmのマチを取りながら仕切り、縫い合わせる。身頃の周囲は羽毛吹込孔を残し、止め縫いをする。また、中仕切りについても吹込孔をそれぞれ仕切端に開けておく。羽毛を封入した後、周囲の吹込孔のみ閉じるものとする。(付図2及び付図4本体断面図参照。)</p> <p>b) 身頃周囲の裁断面を縁取りテープにより包み縫いをする。</p>
	<p>2 組立</p> <p>掛身頃、敷身頃の下辺を合わせ、外側に縁取りテープが見えないよう、左辺を2条縫いにて装着する。装着の場合、インナーシート結着用テープを掛身頃の上から約40cmの位置に2つ折りにして外に向けはさみ込むものとする。</p>
	<p>3 ファスナ取り付け</p> <p>身頃左辺及び下辺に掛身頃にあわせ開閉用ファスナを2条縫い、ムシ出しにて取り付けるものとする。ファスナ下部端は引手が十分閉まるようフラシとする。敷身頃上辺にオープン型ファスナをムシ出し、2条縫いで取り付けるものとする。(付図1及び付図2参照。)</p>
	<p>4 インナーシート結着用テープ及び縛りひもの取り付け</p> <p>a) 付図1及び付図2に示された位置にインナーシート結着用テープを2つ折りにしたものを裁ち目が出ないように、折り込み1条で縫着する。</p> <p>b) 敷身頃下辺、中心及び左側マス中央縁取りテープ上に2つ折りにした縛りひもを上側に向け1条で縫着する。</p>
	<p>5 銘板</p> <p>掛身頃裏所定の位置に縫い付けるものとする。</p>
枕	枕表地と内布地を重ね、中材充てん口を除き地縫いし返して、周囲約5mmに押さえ縫いを行うものとする。中材充てん後、充てん口を閉じる。
枕カバー	生地耳部以外の裁ち目はロックミシン掛けし、地縫いにて筒状に縫う。枕留め用ひもをはさみ縫いで取り付け、両端は2つ折り押さえ縫いとする。
収納袋	側部及び底部の縫い合わせは、地縫い押さえミシン掛けとし、上部は内側に約2cm折り、ひも通し部を造るものとする。ひもは2本通して両側の口縫い部よりひもを出すものとする。側面下部に銘板を縫着する。
インナーシート	掛布部、敷布部に裁断した布地を中央で縫い合わせる。上下裁目部はロックミシン掛けを行い、内側に約2cm折って押さえ縫いをする。左右側部は内側に折って押さえミシンを掛けるものとする。所定位置に綿テープ11本を縫着し、本体との結合用とする。



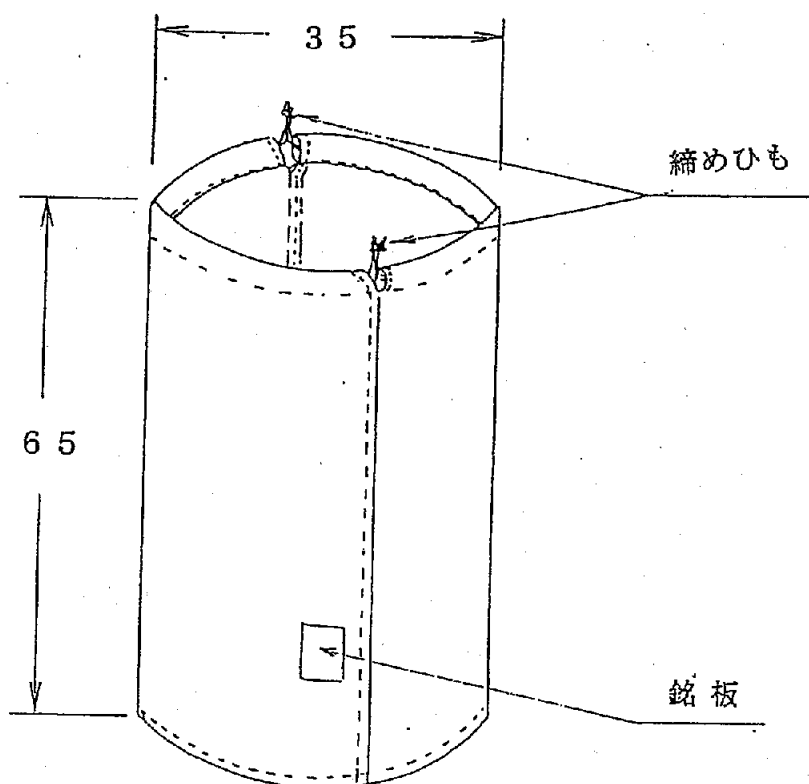
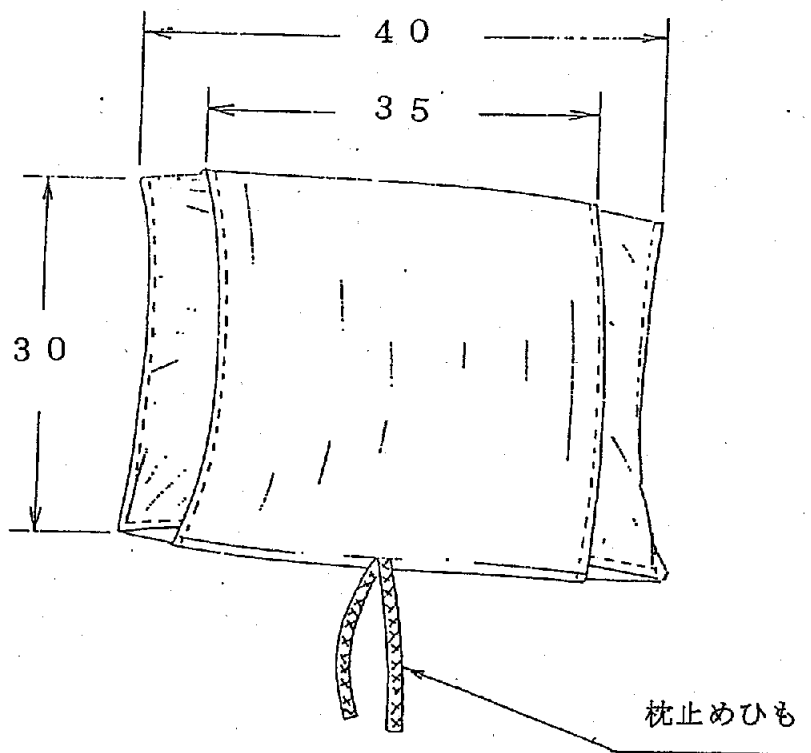
付図1 - 全体図



注記 寸法は標準を示す。

付図 2 - 本体展開図

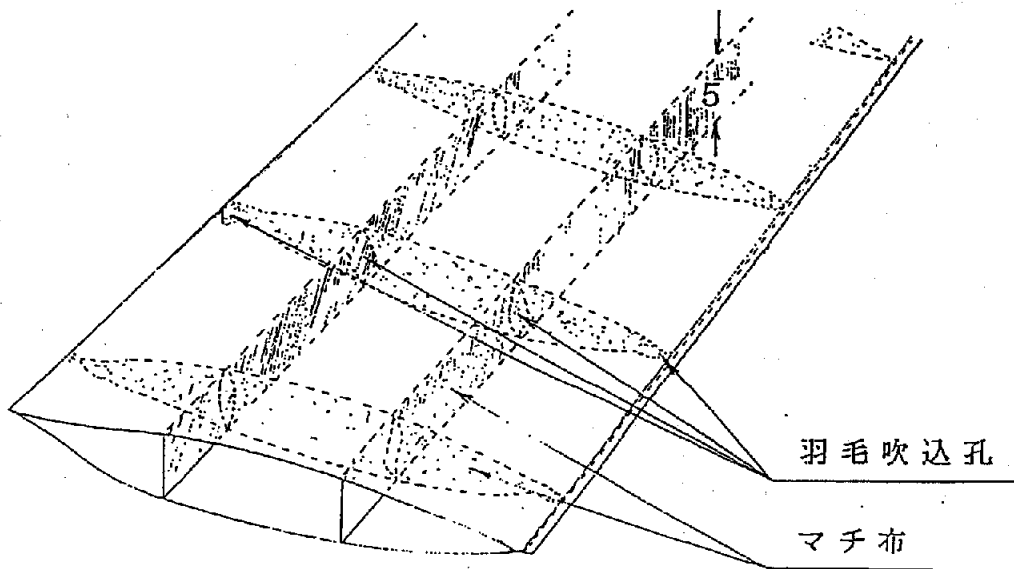
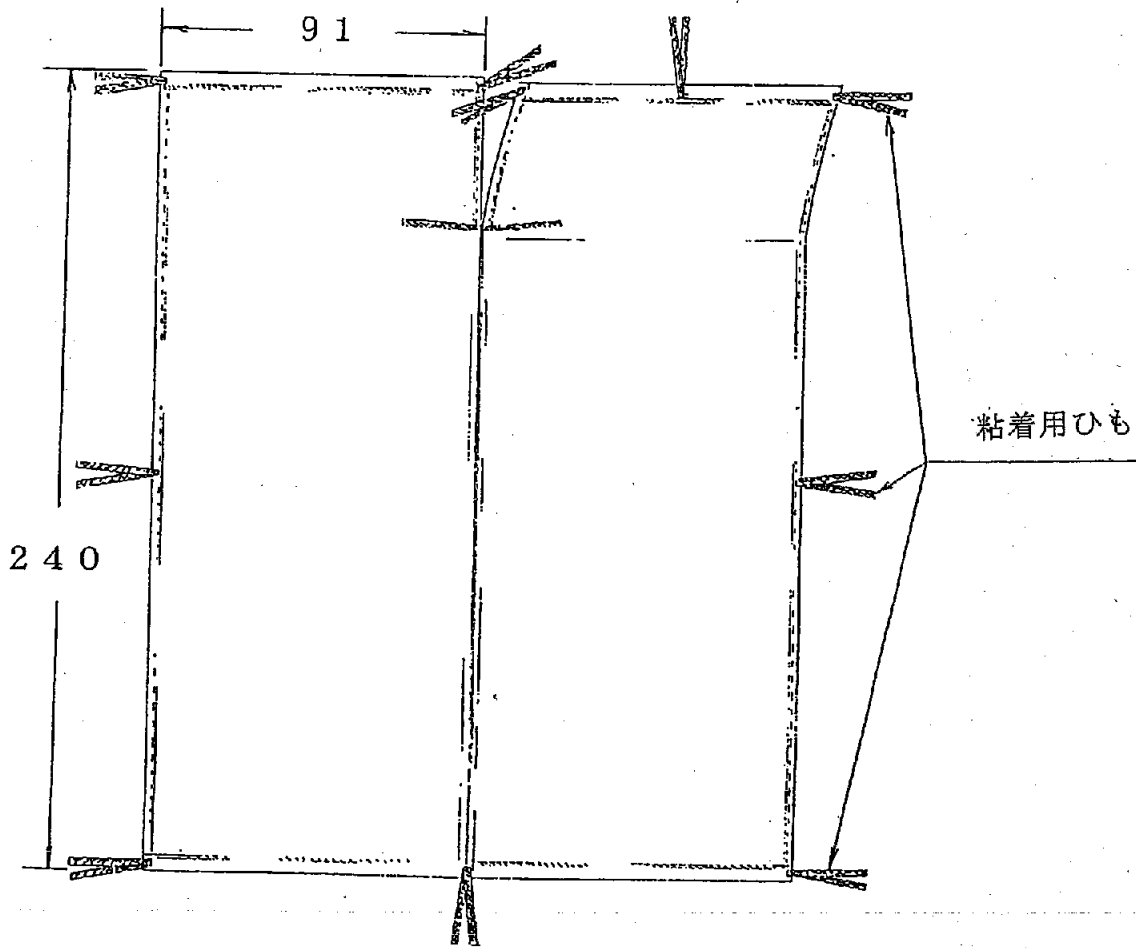
単位 c m



注記 寸法は標準を示す。

付図3 - 枕（覆い付）及び収納袋

単位 c m



注記 寸法は標準を示す。

付図4-インナーシート裏面図及び本体断面図